

とんぐりレター

医療法人 檀原友紘会

大和檀原病院

第13号

2017年8月

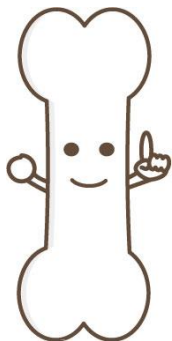
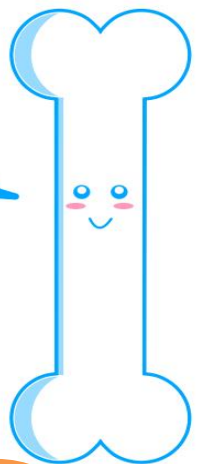
関節リウマチについて



今回は関節リウマチについて、リウマチケア看護師の福田が担当します。

関節リウマチという病気は自己免疫疾患と考えられています。自分の身体の一部を自分のものではないと認識してしまうことで、体に対する抗体をつくってしまいます。その結果関節内にある滑膜という組織にリンパ球が集まって関節炎が起ります。そして様々なサイトカインとよばれる破壊物質が産生されて、しだいに自分の軟骨や骨を破壊してゆきます。重症になると関節は固定されたり、大きく変形したりしてしまいます。

どの年代でも起こりえますが、特に30~40歳代の女性に多く発症します。近年、60歳代からの発症も多く、この場合は男女の発病の性差はありません。実は関節だけの病気ではなく全身的な病気ですので、例えば貧血症状がでたり、体がだるくなったり、微熱が出ることもあります。



診断のための検査と、疾患の活動性や進行度を把握する検査が必要で、主に血液検査と画像検査を行います。視診、触診などの診察所見とこれらの検査結果を合わせ、診断基準によって診断します。

関節リウマチは、できるだけ早く適切な治療を開始して、痛みを良くするだけでなく、日常の動作がしづらくなならないようにすることが大切です。

主な治療法は3つありますので、裏面にて案内します。



1

薬物療法

- 炎症を抑えるステロイド薬や消炎鎮痛薬が使われます。
- リウマチ反応を抑える抗リウマチ剤や免疫抑制剤、さらに 10 年程前から生物学的製剤も使われています。
- ステロイド薬の関節内注射も行う場合もあります。



2

リハビリテーション

- 炎症のある関節を一時的に固定し、装具などで支えます。
- 温めたり圧迫したりして痛みや腫れを減らします。
- 運動療法で適度に体を動かし関節が固くなってしまふのを防ぎます。



3

手術療法

- 関節鏡で観察しながら洗浄したり、炎症組織を切除します。
- 切れた腱など、いたんだ関節周囲の組織を修復します。
- 変形したりゆるんでしまった関節を使いやすい位置で固定します。
- 関節リウマチでいたんでしまった手足の関節は、人工関節で置き換えることができます。

現在当院には、日整会認定リウマチ医が 3 名、リウマチケア薬剤師・看護師が各 1 名在籍しており、200~300 名の関節リウマチ患者様が通院されています。

詳しくは整形外科の外来スタッフにお尋ね下さい。



病院 理念

- ◆安全で質の高い医療を行います
- ◆医療人としての倫理を守ります
- ◆積極的に地域医療に貢献します

病院 基本方針

- ◆患者様の生命と安全を尊重し、質の高い医療を目指します
- ◆医療人としての倫理を守り、常に知識や技術の向上に努めます
- ◆救急態勢を充実させ、他の医療機関や行政・福祉との連携を目指します
- ◆患者様に信頼される適正な医療を行い、安定した経営に努めます

医療法人榎原友紘会 大和榎原病院

奈良県榎原市石川町 8 1 番地

Tel 0744-27-1071 FAX 0744-27-4609

ホームページアドレス

<http://www.yamato-kashihara-hp.or.jp/>

編集後記：猛暑日が続きそうですね。皆さんご愛ください。(to)

発行者：奥田亮宏(院長)

編集長：城崎和久(医局長)

編集委員：竹上(総務) 萬家(リハ) 苫谷(放射)

川崎(検査) 清水(3階) 武本(外来) 八木(2階)

竹内(3階) 堀内(4階)